

# SPA941 取扱説明書 ver2.0.0



このたびは、SPA941 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前には、本書を必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

下記の製品が全て入っていることをご確認ください。

- ・ SPA941 本体
- ・ AC アダプタ
- ・ 受話器
- ・ カールコード
- ・ イーサネットケーブル
- ・ 台座

## ■ 免責事項

- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ SPA941 は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

## ■ お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。  
科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください

## ●接続方法

- ① 本体と受話器をカールコードでつなげる
- ② イーサネットケーブルを本体とブロードバンドルーターに差し込む
- ③ ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む
- ④ ACアダプタを本体に差し込む

※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。

## ●SPA941 とは

SPA941 とは、弊社サービスにてお使いいただける電話機です。一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておく必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。



- |                               |                           |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. Handset                    | 8. Hold button            |
| 2. LCD screen                 | 9. Setup button           |
| 3. Voice mail indicator light | 10. Volume adjustment bar |
| 4. Lines (SPA941 & SPA942)    | 11. Headset button        |
| 5. Soft buttons               | 12. Speaker button        |
| 6. Navigation button          | 13. Mute button           |
| 7. Mailbox button             | 14. Dial pad              |

- ① Handset: 受話器
- ② LCD screen: ディスプレイ様々な設定や、相手の電話番号などが確認できます。
- ③ Voice mail indicator light: 留守番電話メッセージがある時に、点灯します。
- ④ Lines: 設定されておりますアカウント情報が表示されます。
- ⑤ Soft buttons: 画面上の項目を選択して頂けます。
- ⑥ Navigation button: ディスプレイメニュー内のカーソルを移動させることができます。
- ⑦ Mailbox button: 留守番電話の確認に使用します。
- ⑨ Setup button: 電話機に設定されている情報を確認出来ます。
- ⑩ Volume adjustment bar: 各種ボリュームの調節をします。

- ⑪ Headsetbutton :ヘッドセット利用時に 使用します。
- ⑫ Speakerbutton :ハンズフリー機能です。受話器を置いたままでも通話ができます。
- ⑬ Mutebutton : 通話中に自分の 音声相手が相手に届かなくなります。
- ⑭ Dialpad:電話 番号をダイヤルする際に使用します。

## ●設定方法

- ① SPA941 本体の IP アドレスを確認する。

本体の「Setup」ボタンを押すと、LCDscreen に Setup メニューが表示されます。

Navigation ボタンにて、「Network」を選択し、Soft ボタンの一番左、Select を押します。

- ② web ブラウザから、設定ページを開く。

SPA941 と同じネットワークに接続された PC から、インターネットエクスプローラー等 web ブラウザを起動し、先ほど確認した IP アドレスを、以下のように打ち込みます。

[http://\(IP アドレス\)/](http://(IP アドレス)/) 例: 192.168.1.2 だったら、<http://192.168.1.2/>

※不正ログインを防止するため、必ず任意のパスワードに変更して下さい。  
変更方法が不明な場合、さぼーと弊社までお問い合わせください。

- ③ 設定画面が web ブラウザに表示されますので、画面右上の「Adminlogin」をクリックし、「advanced」をクリックしま
- ④ 画面上部「System」タブをクリックし以下のように設定します。

す。

LINKSYS®  
A Division of Cisco Systems, Inc. *Linksys Telephone Configuration*

Info **System** SIP Provisioning Regional Phone Ext 1 Ext 2 Ext 3 Ext 4 User User Login basic advanced Personal Directory Call History

System Configuration

Restricted Access Domains: \_\_\_\_\_

Enable Web Server:  Web Server Port:

Enable Web Admin Access:  Admin Passwd:

User Password:

Internet Connection Type

DHCP:

Static IP:  NetMask:

Gateway:

Optional Network Configuration

HostName:  Domain:

Primary DNS:  Secondary DNS:

DNS Server Order:  DNS Query Mode:

Syslog Server:

Debug Level:  Primary NTP Server:

Secondary NTP Server:

VLAN Settings

Enable VLAN:  VLAN ID:

Undo All Changes Submit All Changes

User Login basic advanced

PrimaryNTPServer : &SecondaryNTPServer:

「ntp.jst.mfeed.ad.jp」を入力します。

Prefer G726r40 Code:	*0172640	Force G726r40 Code:	*0272640
Prefer G729a Code:	*01729	Force G729a Code:	*02729
<b>Miscellaneous</b>			
Set Local Date (mm/dd):		Set Local Time (HH/mm):	
Time Zone:	GMT+09:00	Time Offset (HH/mm):	
Daylight Saving Time Rule:			
DTMF Playback Level:	-16	DTMF Playback Length:	.1
Inband DTMF Boost:	12dB		
Undo All Changes		Submit All Changes	

TimeZone:「GMT+09:00」を選択します。

⑥ 画面上部「Phone」タブをクリックし以下のように設定します。

ShortName: ディスプレイ画面に表示させる**内線番号**を入力します。例)200

Extension :

使用しない LineKey は「Disabled」に設定します。

VoiceMailNumber :

「999」を入力します。

※ SPA941 において、LineKey1 から LineKey4 を別々の内線番号でお使い頂くことが出来ます。別々にお使い頂く場合、Extension に使用する内線を設定した Extension の番号を設定します。一つの番号でご利用の場合は、LineKey2 を Disabled に設定します。画面上部「Ext1」タブをクリックし以下のように設定します。

<b>General</b>			
Line Enable:	<input type="text" value="yes"/>		
<b>Share Line Appearance</b>			
Share Ext:	<input type="text" value="private"/>	Shared User ID:	<input type="text"/>
Subscription Expires:	<input type="text" value="3600"/>		
<b>NAT Settings</b>			
NAT Mapping Enable:	<input type="text" value="no"/>	NAT Keep Alive Enable:	<input type="text" value="yes"/>
NAT Keep Alive Msg:	<input type="text" value="\$NOTIFY"/>	NAT Keep Alive Dest:	<input type="text" value="\$PROXY"/>
<b>Network Settings</b>			
SIP TOS/DiffServ Value:	<input type="text" value="0x68"/>	SIP CoS Value:	<input type="text" value="3"/>
RTP TOS/DiffServ Value:	<input type="text" value="0xb8"/>	RTP CoS Value:	<input type="text" value="6"/>
Network Jitter Level:	<input type="text" value="high"/>	Jitter Buffer Adjustment:	<input type="text" value="up and down"/>
<b>SIP Settings</b>			
SIP Port:	<input type="text" value="5060"/>	SIP 100REL Enable:	<input type="text" value="no"/>
EXT SIP Port:	<input type="text"/>	Auth Resync-Reboot:	<input type="text" value="yes"/>
SIP Proxy-Require:	<input type="text"/>	SIP Remote-Party-ID:	<input type="text" value="no"/>
Referor Bye Delay:	<input type="text" value="4"/>	Refer-To Target Contact:	<input type="text" value="no"/>
Referee Bye Delay:	<input type="text" value="0"/>	SIP Debug Option:	<input type="text" value="none"/>
Refer Target Bye Delay:	<input type="text" value="0"/>	Sticky 183:	<input type="text" value="no"/>
Auth INVITE:	<input type="text" value="no"/>		
<b>Call Feature Settings</b>			
Blind Attn-Xfer Enable:	<input type="text" value="no"/>	MOH Server:	<input type="text"/>
Message Waiting:	<input type="text" value="yes"/>	Auth Page:	<input type="text" value="no"/>
Default Ring:	<input type="text" value="1"/>	Auth Page Realm:	<input type="text"/>
Conference Bridge URL:	<input type="text"/>	Auth Page Password:	<input type="text"/>
Mailbox ID:	<input type="text" value="999"/>	Voice Mail Server:	<input type="text"/>
State Agent:	<input type="text"/>	CFWD Notify Serv:	<input type="text" value="no"/>
CFWD Notifier:	<input type="text"/>		

NATKeepAliveEnable :

「yes」を選択します。

MailboxID:

「999」を入力します。

※ 留守番電話録音時に、LEDを点滅させる機能(MWI機能)は、MessageWaitingをONに設定します。

Proxy and Registration			
Proxy:	<input type="text" value="ログインサーバー"/>	Use Outbound Proxy:	no
Outbound Proxy:	<input type="text"/>	Use OB Proxy In Dialog:	yes
Register:	yes	Make Call Without Reg:	no
Register Expires:	3600	Ans Call Without Reg:	no
Use DNS SRV:	no	DNS SRV Auto Prefix:	no
Proxy Fallback Intvl:	3600	Proxy Redundancy Method:	Normal
Subscriber Information			
Display Name:	<input type="text" value="ユニーク"/>	User ID:	<input type="text" value="ユニーク"/>
Password:	<input type="text" value="パスワード"/>	Use Auth ID:	yes
Auth ID:	<input type="text" value="ユニーク"/>		
Mini Certificate:	<input type="text"/>		
SRTP Private Key:	<input type="text"/>		
Audio Configuration			
Preferred Codec:	G711u	Use Pref Codec Only:	yes
G729a Enable:	yes	G723 Enable:	yes
G726-16 Enable:	yes	G726-24 Enable:	yes
G726-32 Enable:	yes	G726-40 Enable:	yes
Release Unused Codec:	yes	DTMF Process AVT:	yes
Silence Supp Enable:	no	DTMF Tx Method:	AVT
Dial Plan			
Dial Plan:	<input type="text" value="(xx. *x. **X. ***X. *x.*x. *x.*x.*x. #x. #x.*x. #X.*x.*x.)"/>		
Enable IP Dialing:	yes		
<input type="button" value="Undo All Changes"/>		<input type="button" value="Submit All Changes"/>	

[User Login](#) [basic](#) | [advanced](#)

Copyright © 2003-2005 Sipura Technology. All Rights Reserved.

Proxy :

**ログインサーバー**を入力します。

DisplayName: &                      AuthID: &                      UserID:

**ユニーク(10桁の数字)**を入力します。

Password : 登録時にメールでお伝えしたパスワードを入力します。

もし、マイページ内「ユニーク管理ページ」にてパスワードの変更を行った場合は、その変更したパスワードを入力します。

UseAuthID :

「yes」を選択します。

Audio Configuration : 上記画面と同じように入力します。

DialPlan :

「**(xx.|\*x.|\*\*X.|\*\*\*X.|\*x.\*x.|\*x.\*x.\*x.|#x.|#x.\*x.|#X.\*x.\*x.)**」を入力(全て半角)します。

※ 正しく入力されないと、発信が出来ません。

LineKey2以降を有効にした場合は、同じ要領でExt2,3,4タブの設定をします。

設定が終わりましたら、「SubmitAllChanges」をクリックします。

本体が再起動され、設定が有効になります。

# 安全にお使いいただくために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。












この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。









この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。



-  煙が出たり、変なおいがするときは電話機コードを抜く  
そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
-  分解・改造しない  
火災・感電・故障の原因となります。
-  開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない  
万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
-  内部に水や異物を入れない  
水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。
-  故障や異常状態のまま使用しない  
火災・感電の原因となります。
-  雷が発生したときは、本機に触れない  
感電の原因となります。
-  風呂やシャワー室では使用しない  
火災・感電・故障の原因となります。
-  本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない  
こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。
-  水などで濡らさない  
本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



-  調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所に置かない  
火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  直射日光の当たるところに置かない  
内部の温度が上がります、火災の原因となることがあります。
-  湿気やほこりの多いところに置かない  
火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない  
故障の原因となることがあります。
-  不安定な場所や振動の多いところに置かない  
落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。
-  受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う  
受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。



## 故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは弊社へお問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。(数回行ってください) 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号 及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	「VolumeAdjustmentbar」で音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し(再起動)してください。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。
発信は出来るが、 着信が出来ない	ディスプレイ上に「DoNotDisturb」が表示されていたら、ディスプレイ表示「-dnd」をソフトボタンを押して非表示にしてください。	

## ●初期化方法

初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

1. 本体 Setup ボタンを押し、LCDscreen に Setup メニューを表示させます。
2. Navigation ボタンにて、「FactoryReset」を選択し、Soft ボタンの一番左、Select を押します。3. 確認が表示されるので、「OK」を選択し、Select を押します。